

銀河連邦子ども留学交流の様子

8月5日（金）から7日（日）の3日間ウチノウラキモツキ共和国（鹿児島県肝付町）で銀河連邦子ども留学交流が開催されました。5市2町の7共和国から41名の児童が参加しました。佐久市からは小学5年生6名が代表で交流会に参加しました。

交流会では、JAXA内之浦宇宙観測所、鹿屋航空基地史料館、霧島錦江湾国立公園（桜島）などを訪れました。また、ペットボトルロケットの製作・打ち上げを体験し、各共和国の児童と交流を深めてきました。



作文より一部抜粋



一番楽しかったことは、ペットボトルロケットを発射して、遠くまで飛んだことと、友達とおふろに入っていっしょに遊んだことです。その他にも自衛隊資料館見学など、いろいろなきょうな体験ができたのでよかったです。シーカヤック体験ができなかったのでごんねでした。この三日間で、かご島の人や北海道の人たちと仲良くなれて楽しい思い出ができたのでよかったです。

佐久平浅間小 永澤 凜

私の一番楽しかった見学・体験はペットボトルロケットの打ち上げです。私はこんなに本格的なペットボトルロケットを作ったのは初めてだったのでとても楽しかったです。打ち上げは、いっぱいとんだりばなったり色々でおもしろかったです。JAXAの見学ではロケットの模型や発射台などを間近で見れたのでとても迫力がありました。最初は友達ができるかどうか心配でしたが意外にすぐ友達のできたので、とてもうれしかったです。

泉小 櫻井 琴羽



JAXA内之浦空間観測所を見学し、ロケットが飛ぶ原理を知るために、ペットボトルロケットを作り飛ばしました。ウチノウラから飛んだイプシロンロケットは観測ロケットで軽くする必要がありペットボトルロケットとちがい羽根がないそうです。歓迎会でサク共和国の紹介をし、僕は五稜郭とパラバラアンテナの紹介をしました。たくさんの友達ができ、とても良い思い出ができました。

田口小 菊池 尚史

